

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 8月 11日

神戸市長 宛

提出者

住 所 東京都中央区京橋2丁目2番1号

氏 名 (法人にあつては名称及び代表者氏名)

トーヨーケム(株)

代表取締役社長 町田 敏則

電話番号

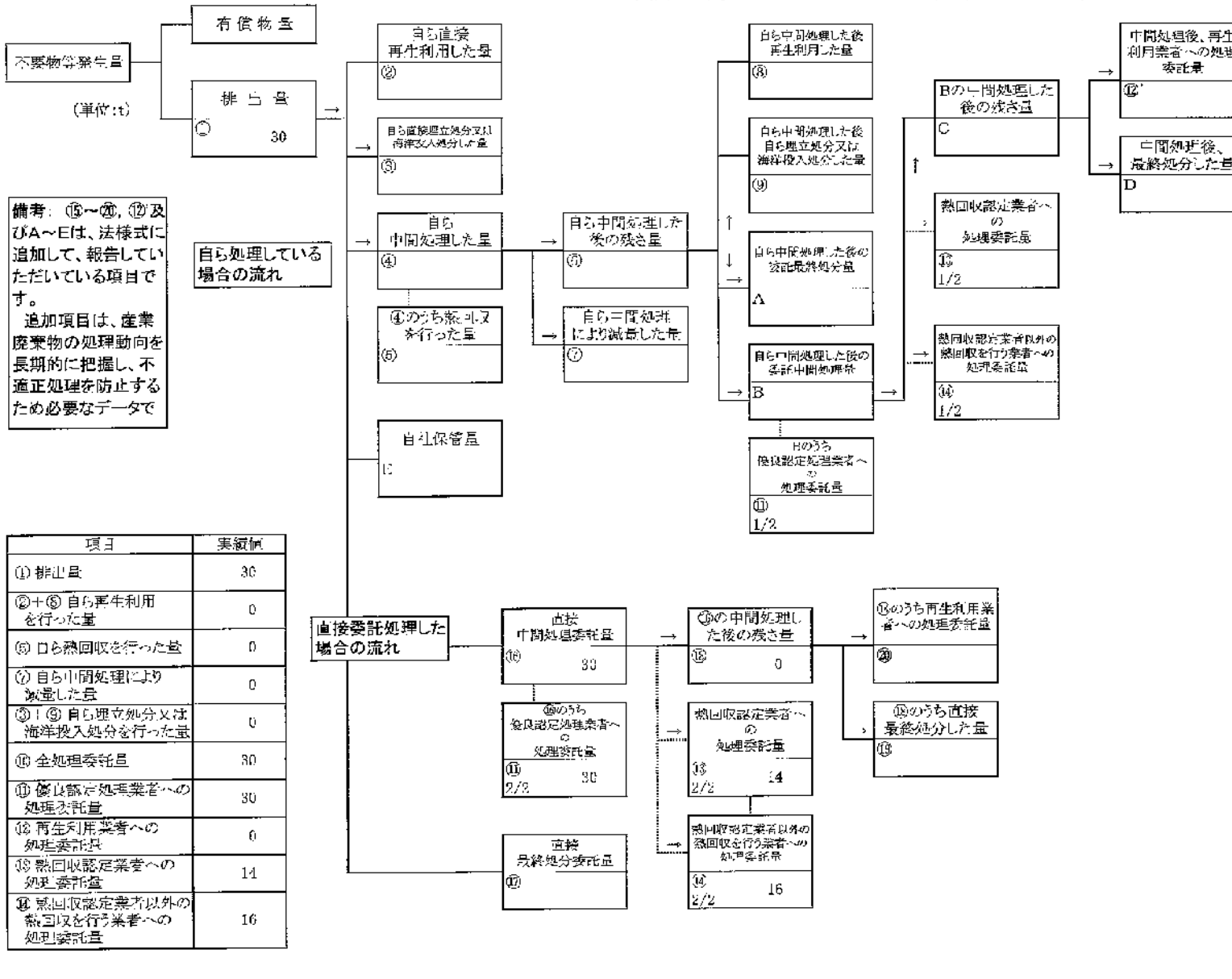
03-3272-5243

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、
管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

4年度の特別

事業場の名称	69J0601015 トーヨーケム(株)西神工場		
事業場の所在地	神戸市西区高塚台1-5-7		
事業の種類	1644 化学工業/塗料製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 4年 4月 1日から 令和 5年 3月31日まで		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	253 t	全処理委託量	253 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	253 t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	0 t
自ら中世処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	5 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	248 t
※事務処理欄			

(事業場コード(69J060)で始まる全10桁コードが不明の場合、事業場名称を記入ください。)

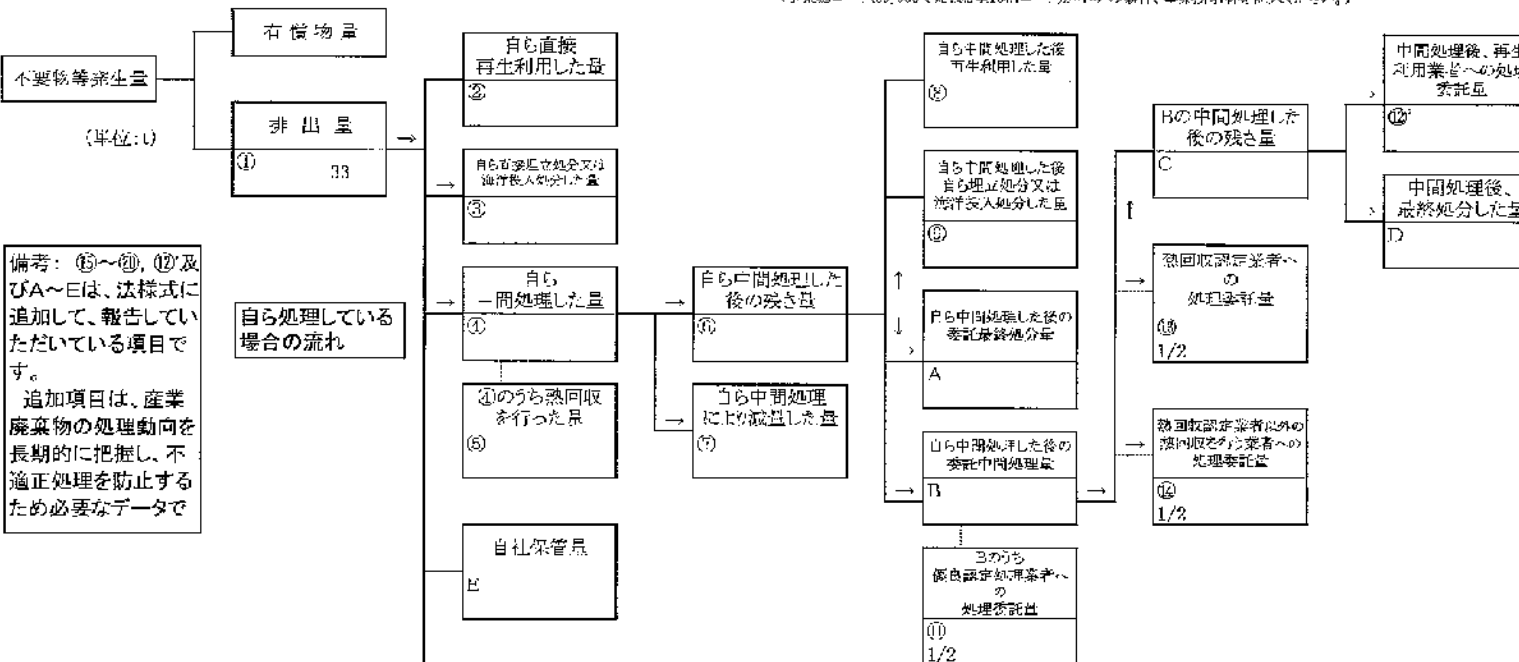


備考: ⑫~⑭, ⑯及びA~Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	30
②+⑤ 自ら再生利用を行った量	0
⑥ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	30
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	30
⑫ 再生処理業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	14
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16

- ⑫直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
30 (A+B+⑧+⑨)
- ⑬優良認定業者への処理委託量
30 (⑪)1/2+⑪)2/2)
- ⑭再生処理業者への処理委託量の合計
0 (⑫+⑭)
- ⑮熱回収認定業者への処理委託量
14 (⑬)1/2+⑬)2/2)
- ⑯熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
16 (⑭)1/2+⑭)2/2)
- ⑰は委託処理のうちの最終処分量
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他
0 保管量
- 総埋立処分量
0 (⑧+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量
0 (②+③+④+⑤)

(事業場コード(69J060)で対応する10桁コードが不明の場合、事業場名称を記入ください。)



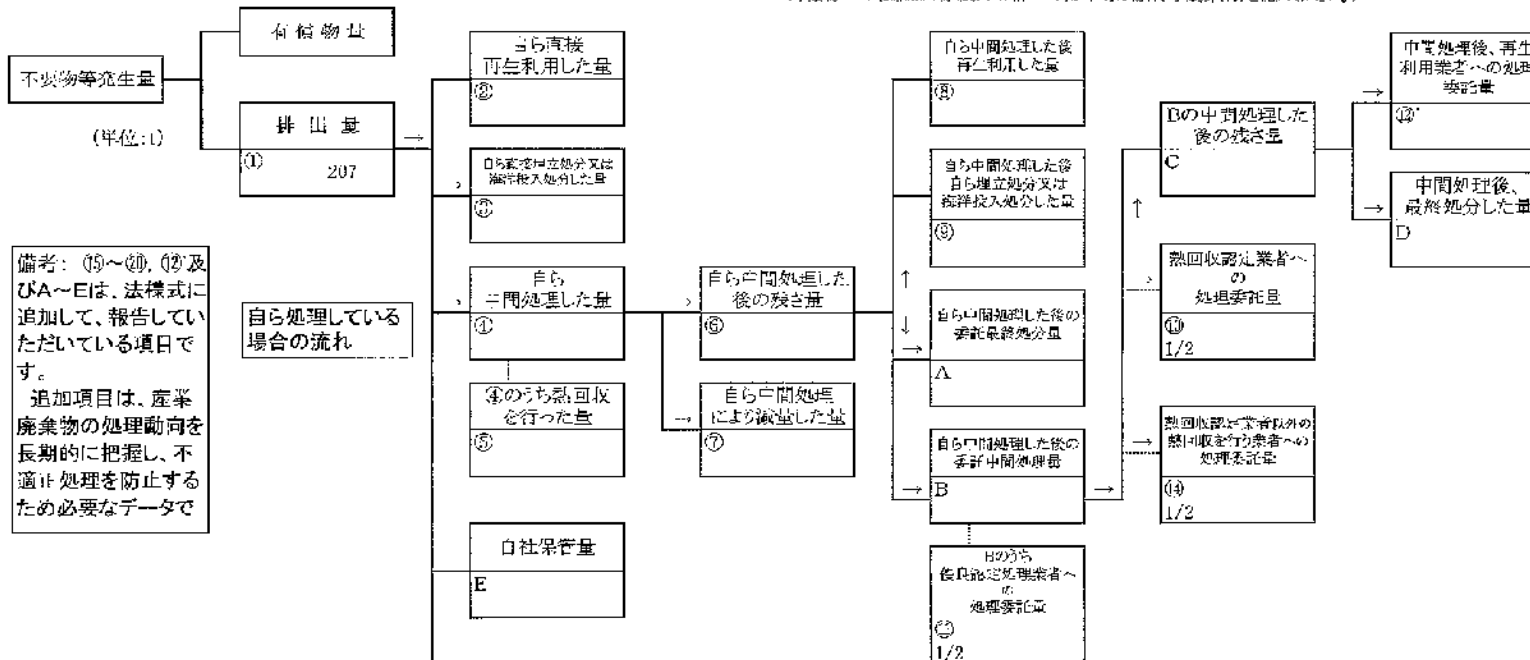
備考: ⑮～⑳, ㉑及びA～Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 非出量	33
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら燃回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
⑨+⑩ 自ら立立処分又は海洋投棄処分を行った量	0
⑪ 全処理委託量	33
⑫ 優良認定処理業者への処理委託量	33
⑬ 再生利用業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者への処理委託量	33
⑮ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

項目	実績値
⑮ 直接中間処理委託量	33
⑯のうち優良認定処理業者への処理委託量	33
⑰ 直接最終処分委託量	0
⑱のうち再生利用業者への処理委託量	0
⑲のうち直接最終処分した量	0
⑳のうち中間処理した後の残さ量	0
㉑のうち優良認定業者への処理委託量	33
㉒のうち再生利用業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量: 33 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量: 33 ((⑮1/2+⑰2/2))
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計: 0 ((⑬+⑭))
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量: 33 ((⑮1/2+⑰2/2))
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量: 0 ((⑮1/2+⑰2/2))
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量: 0 (A+D+⑮+⑱)
- その他: 0 保管量
- 総立立処分量: 0 ((⑨+A+D+⑰+⑱))
- 総再生利用量: 0 ((②+⑧+⑬+⑳))

(事業場コードが09J060で始まる全川南一時的不明の場合、事業所名称を記入ください。)



備考: ①⑨~⑫, ⑬及びA~Eは、法様式に追加して、報告していただいている項目です。
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適切処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	207
⑧+⑨) 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④) 自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	207
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	207
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	207
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
207 (A+B+⑬+⑭)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量
207 (⑪1/2 + ⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計
0 (⑫1/2 + ⑫2/2)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量
207 (⑬1/2 + ⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0 (⑭1/2 + ⑭2/2)
- ⑮ は委託処理のうちの最終処分量
0 (A+D+⑮1+⑮2)
- その他
0 保管量
- 総埋立処分量
0 (⑧+A+D+⑮1+⑮2)
- 総再生利用量
0 (②+⑧+⑫+⑬)

項目	実績値
⑩ 直接委託処理した場合の流れ	207
⑩の中間処理した後の残さ量	0
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
⑩のうち直接最終処分した量	0
⑪のうち優良認定業者への処理委託量	207
⑫ 直接最終処分委託量	0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への実績値を焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときには、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。